

年度:2019年 LOM番号:24
【褒賞申請書】

事業名称	第19回会津絵ろうそくまつり～ゆきほたる～
カテゴリー	最優秀LOM長期型地域開発プログラム部門

申請LOM	東北地区福島ブロック公益社団法人会津青年会議所
LOMの人数	30名
理事長名	明田 圭右
担当者名	星 辰典
担当者携帯番号	090-4606-6282 E-Mail tatsu198499@yahoo.co.jp
事務局住所	福島県会津若松市慶山1-2-2
事務局TEL	事務局FAX 0242-26-5809

本事業の参加者	会員数	30名
	関係者数	ボランティアスタッフ256名(2日間のべ)
	一般参加者数	21,400名(2日間のべ)
事業実施に至る背景 400文字程度	<p>平成12年(2000年)に産・官・民の連携による民主導型事業を目的とした「地域主権型社会システム推進運動」として始まった御薬園の「幻想のともし火」は、19年の歳月を経て会津絵ろうそくまつりとなり、今や会津の冬の風物詩として親しまれてきました。</p> <p>会津絵ろうそくまつりは、歴史的建造物である鶴ヶ城、御薬園をメイン会場に市内全域で、伝統工芸「絵ろうそく」を灯し幽玄の世界へ誘い、貴重な会津の文化に親しみ、未来へと受け継がれていく「静」のまつりです。貴重な会津の文化に親しみ、未来へと受け継がれていく「静」のまつりです。</p> <p>これまでの絵ろうそくまつりを継承しながらも、さらに深化させてまちづくりのともし火をさらに広げていく必要があります。</p>	
事業目的 400文字程度	<p>参加者が絵ろうそくまつりの文化、歴史を知り、自ら作り上げるまつりの大切さを実感することで、市民が当事者意識を持ち、郷土愛を育むことを目的として開催致します。</p>	
SDG'sの該当項目	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	

	<p>11. 住み続けられるまちづくりを 17. パートナーシップで目標を達成しよう</p>
<p>事業概要 400文字程度</p>	<p>本事業はまつりを通して、絵ろうそくまつりの文化、歴史を知り、自ら作り上げるまつりの大切さを実感することで、市民が当事者意識を持ち、郷土愛を育むことを目的として開催した事業である。受益対象者は一般市民である。本年度で19回目の開催となるが、市民参加型のまつりの定着を昨年よりさらに推し進める為に、当青年会議所メンバーが一丸となり、まつりの企画段階から参画している。</p> <p>(ア) 幼稚園・保育園児行燈作製事業 幼稚園・保育園児に行燈作成(36園) 2月9日～10日の2日間、鶴ヶ城本丸に展示した。</p> <p>(イ) ボランティア研修 平成30年2月1日(木)19:00～20:30 会津青年会議所会館 参加者13名 絵ろうそくまつりの概要・当日作業内容の説明</p> <p>(ウ) 絵ろうそく絵付け体験 平成30年1月28日(日)13:00～17:30 會津稽古堂 参加者35名 2月10日に鶴ヶ城内で点灯式を行った。</p> <p>(エ) 絵ろうそくまつりの歴史を振り返る 絵ろうそくまつり期間中、巨大行燈に今までの絵ろうそくまつりの写真を展示した。</p>
<p>開催期間・ タイムスケジュール</p>	<p>第19回会津絵ろうそくまつり 2018年 2月9日(金)、10日(土) 17:00～21:00 9日(金) 14:00 メンバー集合 15:00 鶴ヶ城本部テント前ボランティア集合(全体説明) 15:15 解散して両会場へ移動 【鶴ヶ城】 15:30 会場設営・準備 17:00 本丸にて点灯式開始 17:30 開場 20:30 撤収準備 21:00 撤収開始 22:00 JC会館にて初日反省会・解散(1時間程度の反省会)</p>

	<p>10日(土)</p> <p>14:00 メンバー集合</p> <p>15:30 鶴ヶ城本部テント前ボランティア集合(全体説明)</p> <p>【鶴ヶ城】</p> <p>15:30 会場設営・準備</p> <p>17:00 本丸にて親子絵付けろうそく点灯式開始</p> <p>17:30 開場</p> <p>20:30 撤収準備</p> <p>21:00 撤収開始</p> <p>23:00 JC会館にて初日反省会・解散(1時間程度の反省会)</p>	
開催場所	鶴ヶ城公園・御薬園	
事業区分	継続	
公益・共益区分	公益事業	
事業総予算・収支	<p>予算計: ¥3,000,000-</p> <p>支出計: ¥3,021,690-</p>	
協力団体	共催	絵ろうそくまつり実行委員会(行政・民間を含めた19団体で組織)
	協賛	協賛企業156社 計:2,248,000円
	後援	
	その他	ボランティア参加者256名
事業対象者	制限無し(国内外問わない)	
<p>行動</p> <p>(ACTION TAKEN)</p> <p>400文字程度</p>	<p>会津絵ろうそくまつりは、冬の大きなまつりとして認識されており、実行委員会を組織し、開催までに設えや予算等の打ち合わせを行った。会津JCは絵ろうそく絵付け体験、園児に行燈作成依頼、ボランティアの募集・運営、会津短大生と地上絵作成、協賛金集めと多岐に渡る活動を行っている。今年は郷土愛を育むために、会津絵ろうそくまつりの歴史を知っていただく設えを行った。(過去の絵ろうそくまつりの写真を展示)</p>	
<p>結果</p> <p>(RESULT)</p>	<p>目標来場者数に対しての達成率は76%。目標ボランティア数対しての達成率は102%。運営側としては、まつりに足を運んでいただくのはもちろんであるが、企業、地域住民のボランティア数を如何に増やし、自分たちがこのまつりを作り上げているという気持ちに更に郷土愛を育むという考えでしたので、目標ボランティア数を達成できて良かったと考えている。ボランティアスタッフへのおもてなしとして本部テントで温かい飲み物を振舞った。例</p>	

	<p>年がない取り組みだったので、ボランティアの方々と会話する機会も増え、満足して頂けたと考える。</p>
<p>地域社会への影響</p> <p>400文字程度</p>	<p>会津の伝統工芸である絵ろうそくに触れて頂くことで伝統工芸の振興ができた。また、来場した市民は改めて絵ろうそくまつりの文化、歴史を知ることができた。ボランティアで参加した市民は、自ら作り上げるまつりの大切さを実感することで、当事者意識を持ち、郷土愛を育むことができた。</p> <p>海外にも絵ろうそくまつりの認知が広まり、アジアから多くの観光客が来るようになり、経済効果も大きくなっていると考える。</p>
<p>LOMへの影響</p> <p>400文字程度</p>	<p>会津JCの事業の中で一番大きな事業であり、一人ひとりが責任をもって行動しないと成功しない事業である。一人ひとりに役割を与えることで全員が当事者意識をもって行動でき、大きなまつりを運営することで会員の自信にもつながり、会津JCのスケールメリットを感じれたと考える。</p> <p>来年はさらに良い事業にしようと反省会も実施し、会員のモチベーションにつながったと考える。</p>
<p>事業の長期的な影響</p> <p>400文字程度</p>	<p>19年前に絵ろうそくまつりが始まり、徐々に大きなまつりとなり、今では来場者が2万人を超えるまつりとなった。ただしこのまつりはJCメンバーのみでは実施できず、地域の様々な団体を巻き込まないと実施できない事業である。今後とも地域の様々な団体と手を取り合い、事業を実施していくことが会津の地域力向上、市民の郷土愛醸成には欠かせないと考える。</p>
<p>考察や推奨</p> <p>400文字程度</p>	<p>今年は普段声を掛けていなかった所にも声掛けを実施したため、ボランティア数、JC担当の協賛金について前年を上回ることが出来た。動いた分だけ成果が出るということを感じた。</p> <p>絵ろうそくまつり開催に際しては、何点か新たな取り組みを行った。(本部でのボランティアへ温かい飲み物を配布、募金活動、チャッカマンをクーラーボックスに入れて保温等)こちらに関しても良い成果を挙げることができた。また、今までの絵ろうそくの写真を掲示した巨大行燈に関して、多くの来場者に鑑賞頂くことで苦勞が報われた。</p>
<p>改善点</p>	<p>本部テントには多くの備品が置かれ、必要な備品がどこにあるか把握に時間がかかってしまうため、備品置き場の見える化が必要である。</p> <p>三脚を立てて撮影する来場者が沢山いて、歩行者が危ないので撮影エリアを作る工夫が必要である。</p> <p>外国人来場者が増えているので、案内看板等に英語や中国語を記載したほうがよい。</p>
<p>JCI活動計画の推進</p> <p>JCI VISION活動計画の推進</p>	<p>・JCI活動計画の推進</p> <p>JCIPlanofActionおける影響力、協力、つながりについて推進できたと思</p>

<p>JCI MISSION活動計画の推進</p>	<p>う。会津の冬を代表するまつりとして認知され、2日で約2万人が来場するまつりである。また、会津の伝統工芸である絵ろうそくを使用したまつりであることから伝統産業が永続的に持続していくための一助となっている。</p> <p>協力、つながりの部分については、まつりを実行するために様々な団体と連携をしている。特に若い世代との協力、つながりも増えてきており、地上絵は会津短大生がデザインしたものである。ボランティアについても高校の課外授業としてクラス全員で参加した。</p> <p>・JCI VISION活動計画の推進</p> <p>ボランティアを募りまつりを運営していることから、ボランティアスタッフは自らが作り上げるまつりという実感ができる。また、まつりの企画もいろんな団体に声を掛けて実施していることからJCは、能動的市民を醸成すべく運営を行っている。</p> <p>・JCI MISSION活動計画の推進</p> <p>会津絵ろうそくまつりは、大きな予算額であることと、他団体との打ち合わせを実施しないと成功しないまつりである。この機会は会員が成長できる絶好の機会であり、達成感を味わえる事業である。</p>
<p>添付資料</p> <p>PDF資料2MB、5ページ以内</p>	<p>(事業風景の写真、新聞記事、参加者や協力者から寄せられた感想文 など)</p> <p>写真:事業当日のボランティア説明風景</p> <p>新聞掲載: 福島民報① 福島民報②</p>

<キャッチコピー等> 和(なごみ)の精神で郷土愛を育もう!

<事業名> 第19回会津絵ろうそくまつり～ゆきほたる～

公益社団法人会津青年会議所は2018年2月9日・10日に「第19回会津絵ろうそくまつり～ゆきほたる～」を鶴ヶ城・御薬園にて行いました。詳細の内容につきましては、下記内容をご覧ください。

この「第19回会津絵ろうそくまつり～ゆきほたる～」は参加者が絵ろうそくまつりの文化、歴史を知り、自ら作り上げるまつりの大切さを実感することで、市民が当事者意識を持ち、郷土愛を育むことを目的として開催されました。当青年会議所の企画として、今までの会津絵ろうそくまつりの写真を掲示しました。多くの来場者に鑑賞して頂き、今までの絵ろうそくまつりの歴史を知って頂くことができたと考えております。また、当日の運営は市民のボランティアスタッフであることから、ボランティアスタッフへのおもてなしとして本部テントで温かい飲み物を振舞いました。例年になく取り組みでしたので、ボランティアの方々と会話する機会も増え、満足して頂けたと思います。それにより、また来年もボランティアとして参加したいというスタッフが増えることを確信しております。また、来年の第20回開催を見据え募金活動も行い、想像以上の募金が集まりました。募金をして頂いたのは、市民と共に作り上げるまつりに対して少しでも協力したいという気持ちの表れだったと思います。以上のことを踏まえ、目的を達成する事ができました。

<事業名 第19回会津絵ろうそくまつり～ゆきほたる～>とは?

詳細な事業内容

期日：2018年2月9日・10日

会場：鶴ヶ城公園・御薬園

(事業内容)

本年度19回目の開催となるが、市民参加型のまつりの定着を昨年よりさらに推し進める為に、当青年会議所メンバーが一丸となり、まつりの企画段階から参画している。

(ア) 幼稚園・保育園児行燈作製事業

幼稚園・保育園児に行燈作成(36園)2月9日～10日の2日間、鶴ヶ城本丸に展示した。

(イ) ボランティア研修

平成30年2月1日(木)19:00～20:30 会津青年会議所会館 参加者13名

絵ろうそくまつりの概要・当日作業内容の説明

(ウ) 絵ろうそく絵付け体験

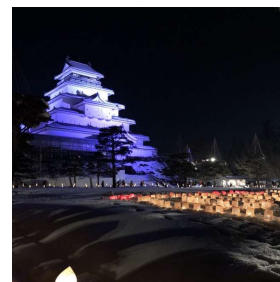
平成30年1月28日(日)13:00～17:30

會津稽古堂 参加者35名

2月10日に鶴ヶ城内で点灯式を行った。

(エ) 絵ろうそくまつりの歴史を振り返る

絵ろうそくまつり期間中、巨大行燈に今までの絵ろうそくまつりの写真を展示した。





2018年(平成30年)2月11日(日曜日) 福島県報

会津

「戌辰」の節目 地上絵で表現

会津若狭市は、今年が「戌辰」の節目(ごじ)である。この節目を記念し、市街地を彩る地上絵が完成した。地上絵は、市街地の中心部にある「戌辰」の文字をモチーフに、市民のアイデアを募集し、完成した。地上絵は、市民のアイデアを募集し、完成した。地上絵は、市民のアイデアを募集し、完成した。

会津若狭市は、今年が「戌辰」の節目(ごじ)である。この節目を記念し、市街地を彩る地上絵が完成した。地上絵は、市街地の中心部にある「戌辰」の文字をモチーフに、市民のアイデアを募集し、完成した。地上絵は、市民のアイデアを募集し、完成した。

城下包む光の群れ

酒場の包む光の群れ。会津若狭市は、今年が「戌辰」の節目(ごじ)である。この節目を記念し、市街地を彩る地上絵が完成した。地上絵は、市街地の中心部にある「戌辰」の文字をモチーフに、市民のアイデアを募集し、完成した。地上絵は、市民のアイデアを募集し、完成した。

多彩な発色で 幻想の雪景色

幻想の雪景色。会津若狭市は、今年が「戌辰」の節目(ごじ)である。この節目を記念し、市街地を彩る地上絵が完成した。地上絵は、市街地の中心部にある「戌辰」の文字をモチーフに、市民のアイデアを募集し、完成した。地上絵は、市民のアイデアを募集し、完成した。

宿泊客がまぐら満喫

宿泊客がまぐら満喫。会津若狭市は、今年が「戌辰」の節目(ごじ)である。この節目を記念し、市街地を彩る地上絵が完成した。地上絵は、市街地の中心部にある「戌辰」の文字をモチーフに、市民のアイデアを募集し、完成した。地上絵は、市民のアイデアを募集し、完成した。

9、10日 絵ろうそくまつり

鶴ヶ城茶室 特別開館

・59市町村地区「ろうそくまつり」
大好さ 会津若松
 鶴ヶ城茶室

福島民報 NHK連携企画

第十九回絵ろうそくまつり「ゆきほたる」は九、十の両日、会津若松市の鶴ヶ城や御茶園、市街地各所で催される。今回は鶴ヶ城会場で茶室開館を特別開催する。

会津青年会議所（JCC）、会津まつり協会などによる実行委員会の主催。時間は両日とも午後五時半から同九時まで。「和（なごみ）」をテーマに、鶴ヶ城では今までの絵ろうそくまつりの歴史を紹介する「ナ

ーや会津大短期大学部学生がデザインしたろうそくの地上絵をともす企画などを実施する。会場は、二瓶孝文実行委員長は会津若松商工会議所青年部による露店が設置される。

津若松の礎を築いた武將・蒲生氏郷公が開いた自由市（十楽）を再現する「會津十楽」の飲食屋台を設ける。御茶園では会津若松商工会議所青年部による露店が設置される。

実行委員会は運営ボランティアを募集している。会場設営や運営、ろうそくの点灯、来場者への誘導などを行う。参加者には軽食などが付く。里辰興会津JCC地域委員長（左）は「二十日は比較的来場者が少ないのでぜひボランティアとして一緒に盛り上げてほしい」と呼び掛けている。申し込めは会津JCC。電話0244-2(20)50501。

NHKラジオ第一 午後5時から放送

（左）は「厳しい会津の家に来場者の心が温まるろうそくまつりにしたい」と意気込みを語った。白井由美会津JCC理事長（右）は「和（なごみ）」をテーマに幻想的な風景をつくるため、しっかりと準備してほしい」と話している。

（左）は「厳しい会津の家に来場者の心が温まるろうそくまつりにしたい」と意気込みを語った。白井由美会津JCC理事長（右）は「和（なごみ）」をテーマに幻想的な風景をつくるため、しっかりと準備してほしい」と話している。

（左）は「厳しい会津の家に来場者の心が温まるろうそくまつりにしたい」と意気込みを語った。白井由美会津JCC理事長（右）は「和（なごみ）」をテーマに幻想的な風景をつくるため、しっかりと準備してほしい」と話している。



絵ろうそくまつりへの来場を呼び掛ける二瓶さん（左）と星さん